



伊深っ子

伊深小 学校だより R5,11,27

FROM-0 歳プラン2推進校

『明るく笑顔あふれる伊深っ子』

～学び合う 思いやる やりぬく～

・ ・ 2学期終盤へ続く「つみかさね大作戦」 ・ ・

<実物や本物は子どもたちの心に火をともし>

東大寺の大仏を目の当たりにした伊深小学校6年生一行は、「やっぱり大きい!BIGだ!」という思いで大仏をみつめました。社会や総合の学習を通して大仏の大きさを知識として知っていたもののやはり実物の見学に叶うものではありませんでした。

調べ学習を念入りに繰り返した子どもたちにとって、法隆寺や東大寺をはじめ、日本の歴史にどっぷりつかることができた修学旅行の2日間でした。



<毎日の小さな努力が少しずつ形となって表れる>

11月に行われた全校朝会での出来事でした。図書委員会の発表後、Kさんの発言する場がやってきました。Kさんは、心配そうな顔をしながらも自分の思いを語ろうとしました。その時、ハプニングが起こったのです。恐らくKさんは、何を話してよいか困ったのでしょう。沈黙が続いてしまったのです。すると、全校の仲間は、静かにKさんを見つめ、Kさんのことばを待ちました。Kさんは、何とか自分の考えをまとめ、話し切り、自分の役割を果たしました。

毎日の努力によりまとめて話す力が鍛えられていたからこそ、Kさんはピンチを乗り切ることができたのでしょう。

<専門家からの教えは子どもたちの目が輝き好奇心という種につながる>

岐阜協立大学陸上部顧問の河村道彦先生から2回目の講義を受けました(11月16日実施)。リズムに合わせながら足を前に出したり、横に出したりする準備運動が示されました。低学年の子どもたちは四苦八苦しなながら河村先生の指示を守ろうとしました。中学年、高学年の仲間も同様でした。全校の子どもたちの様子から、上級生の方が難なくリズムに合わせて足を動かすことができるように見えました。



どの学年の子どもたちも、カッコいいフォームに憧れ、あのようにになりたいという願いのもと、必死にチャレンジする姿が印象的でした。

世の中ではドイツの学者が考案した「ライフキネティックトレーニング」が公民館講座等で広がりつつあります。ライフキネティックとは、運動と脳トレーニングを組み合わせたエクササイズで、神経細胞間に新しいつながりを持たせる効果が報告されており、本校の実践と繋がっています。

いよいよ師走です。2学期末へと本校のつみかさね大作戦は続きます。(文責 宮西 祐治)